

全ての進化の周期に行う13のウェーブの解説



ブログ内の【図②】

13のセクションを代表する言葉やテーマを左から順番に下の表にまとめていきます。

期間	代表する言葉やテーマ	植物の成長段階に例えた説明や解説	現在の周期の各期間の出来事を通しての説明や解説	開始する月日
昼①	Seeding 種を植える	種を植える段階。その周期の最後に目指している結果の元となる種を植える	東日本大震災をきっかけに、世界中の人々の認識範囲が一気に拡大されたこと	3/9
夜①	Inner assimilation of new wave 新ウェーブの内的消化	次の拡大のための安定感	募金活動や世界中からの助け合い	3/27
昼②	Germination 発芽	発芽の段階。新たな可能性や「できる事」を見出し、益々行動に移すような動きの段階	フリー・エナジーの動き、様々な会議 原子力発電所をより安全な形で使う提案	4/14
夜②	Resistance against new wave 地上に出る前の芽	種から芽が出る。芽が地上までいく間に土を押し上げていく過程での土の抵抗感のある段階	新たな発想に基づいた動きに対しての抵抗	5/2
昼③	Sprouting 地上に芽が出る	地上から芽が出る。新たな形を通して、実際の形として、何かの表現を行う段階	「出来ること」に対する認識拡大や次から次へと出てきた新たな発想や提案	5/20
夜③	Conscious Assimil'ion of new wave 新ウェーブの意識的消化	地上の生存を把握しながら、より安定化する	認識拡大を積極的により意識的に消化する	6/7
昼④	Leaf Formation 葉ができ、益々増える	葉が増える。対策を組んで、復興しようとしている段階	様々なアイデアが生まれ、考えられる範囲が一気に増える現れ	6/25
夜④	'Inner' expansion of new wave 枝や葉の色々な栄養を意識的に与える・内的拡大	枝や葉に栄養を更に集中的に与えることで、植物がよりどっしりとした波動になる段階	広がった可能性や考え、新たにできた認識範囲をさらに消化する形で、今度は形付けるための具体的な企画や、実践するための下準備などの動きが見られる	7/13
昼⑤	Budding つぼみが出る	つぼみが出る。その植物の個性や力が世の中に認められる形で出される。希望を与える波動	次の周期の認識レベルをもたらず最も土台となるもの(希望を与えるような新しいテクノロジーやパラダイムをもたらず概念など)が必ず何らかの形で発明されるか発表されることが多く見られる	7/31
夜⑤	Obvious destruction & release of old forms これまでに使ってきた様々なことの形が崩れてくる	太い根を張っている中で、これまで使ってきた構成のもので、いらなくなったものがなくなっていく段階	これまでの地球社会を押さえてきたあらゆる金融機関の基となっている構造や組織が、そして、私達がこれまで「真実として実感していた」パラダイム・認識範囲を含めて益々劇的な形で崩れていく傾向が強い	8/18
昼⑥	Flowering・Birth 花が咲く・誕生	花が咲く。周りの植物や生き物にも輝きがいき届くほどの数多くの花が咲いている段階	昼⑤に生まれた、これからの地球社会の基となるマルチ次元的な認識に基づき、皆に栄養が流れる形で全てを生かしたり、片付けたりしながら、次の世界の基盤作り	9/5
夜⑥	Conscious fine-tuning of New forms/models 満開の手前 新たに出来た形の改善	満開の手前。きれいで、立派な花を咲かせるように必要な栄養を丁寧に与え続ける段階	一気に拡大してきた認識に基づいた新しい道具や機械などの更なるファインチューニングを通して、全てがさらに効率よく、最大限に表現できるように改善し、磨く波動の段階	9/23
昼⑦	Fruition 満開、実現	満開。地球の歴史上には無かった新たな認識範囲から生まれる人生経験を生み出す段階	誰もが本当に最高に感じる「宇宙意識」に基づいた世界が始まる	10/11

上の表についての簡単な解説は下記にあります。

1 つ目の昼は、種を植える段階で、その周期の最後に目指している結果(意識状態)の元となる種のような役割を果たす出来事が起きるセクションです。日本では、東日本大震災が第9の周期の意識の進化の種を植えた出来事としてコールマン博士は考えていますし、私も今後の地球社会における日本の役割から考えても、絶対にそうだと思っています。

そして、**1 つ目の夜**は、新しい周期が始まったばかりで、大体の場合は、新たな意識の波動を「吸収する」時期になるのです。でも、種を植えたばかりなので、まだ意識的に、という段階ではありません。どちらかという、新たに感じている意識の波動に思わず直面するような感覚があり、「何がどのように行っているのか」などに気付くような感覚が多い波動でしょう。ですから、現状把握というか、起こった出来事からのショックや他の刺激を内面的に消化しようとしているところです。最後の方になると、そこから、どのように動いていけばいいのかという次の動きを把握する段階となるのです。植物でいうと、次の拡大のための安定感を押さえる段階です。

2 つ目の昼は、植物でいうと、丁度、発芽の段階です。日本の場合は、災害をきっかけに行った意識の変化に基づいて、新たな可能性や「できる事」を見出し、益々行動に移すような動きが見られたわけです。中には、フリー・エナジーを優先する動きもあれば、原子力発電所をより安全な形で使う提案もあつたりしました。

2 つ目の夜に入ると、新しい種が発芽したことに対する抵抗するような波動になります。植物でいうと、丁度、種から芽が出て、地上までいく間に土を押し上げていく過程での土の抵抗のような波動で考えられるのです。ですから、日本においても、新たな発想に基づいた動きに対する抵抗として表れたわけですね。政府においても、福島原発においても、また特に世界中の政治関連のところにおいても見られました。

3 つ目の昼を植物に例えると、地上に芽が出る段階です。新たな形を通して、実際の形として、何かの表現を行うということです。今年の3つ目の昼の期間は、5月20日～6月6日までの間でした。その昼の期間を通してできた認識拡大を**3 つ目の夜**の期間である、6月7日～6月24日まででさらに消化するようになります。ただ、今度は2つ目の夜と違って、もっと積極的に、意識的に行う波動になっている段階です。

4 つ目の昼に入ると、植物の場合であれば、最も太い幹から枝も出て、一気に葉が増えてくる段階です。現在の周期でいうと、日本や世界でも対策を組んで、復興しようとしている段階です。皆で新たに考えている対処法や関係性を見つけて、人脈や力を増やしたり、成功させようとしている表れです。基本的には、様々なアイデアや新たに感じる可能性が生まれ、考えられる範囲が一気に増える波動の段階です。今年の期間は、6月25日～7月12日まででした。

それらをもって、今度は、**4 つ目の夜**に入ると、4 つ目の昼に広がった可能性や考え、新たにできた認識範囲をさらに消化する形で、今度は「内側(裏や未発表の段階のような)」波動でより拡大する段階です。ですから、先週も言いましたが、植物でいうと、一気に増えた枝や葉のいろんな栄養をますます意識的に与え、より強めたりする段階になるのです。3 つ目の昼に発見できた考えや認識範囲、新たな可能性に基づいて、「形付ける」ための具体的な企画や、実践できるための下準備などの動きが見られる期間です。

それから、**5 つ目の昼**に入っていくと、植物でいうと、つぼみが出る段階です。なので、これまで歴史を振り返ってみても、非常に大切な時期となっているのです。マヤ暦でいうこの5 つ目の昼のテーマについても、本当はもっと詳しくお伝えしたいのですが、今、全ての情報をお伝えすると多すぎるので、今日は書かないことにしました。また、後日改めて全ての周期に渡る5 つ目の昼のテーマについてブログに掲載いたします。

でも簡単に言えば、各段階の周期の 5 つ目の昼には、次の周期の認識レベルをもたらす最も土台となるものが必ず何らかの形で発明されるか発表される期間となっているのです。ですから、今回の場合は、マヤ暦の最後の周期でもあるので、「無限レンズ」的にいうと、本当の意味での調和と喜びに満ちた地球社会が実現できるマルチ次元的な宇宙認識となる、ホログラフィック・ワンネスの元となるものや考えが発表されたり、または、様々な形で、たくさんの人の中でも閃いたりする期間になると思います。もちろん「無限レンズ」自体もまさにマヤ暦が終了した、次の世界をもたらすものなので、その一つでしょうが、他の形で現れることもあるかと思えます。

それから、**5 つ目の夜の**テーマは、植物でいうと、これまではその場・空間にあったもので、今はもう要らなくなったものが、どんどん消えていく段階ですね。ですから、新しく植えたものが、ますます太い根を張っている中で、これまでの構成のものがなくなっていく様子が強まるわけです。今年の場合は、私達がこれまで「真実として実感していた」パラダイム・認識範囲を含めてさらに崩れていくはずで、特に「形に頼っていた」パラダイムや両極性に限られているような「区切った存在意識」というような意識をもたらすパラダイムがますます崩れていく様子が見られるでしょう。そして、これまでの地球社会を押さえてきたあらゆる金融機関の基となっている構造や組織が一気に崩れてしまうことになる可能性が非常に高いでしょう。現在の周期で、その期間は 8 月 18 日～9 月 4 日までです。面白いことに、ホンダ彗星も 17 日・18 日に地球に一番接近します。これが、また古代の予言の中で、これまでの古い地球社会の構成の終わりの時期を象徴するものとして予言されているので、日にちとしてはピッタリ 5 日目の昼と 5 日目の夜の境に当たっているので、非常に面白いですね。

それから、**6 つ目の昼**は、植物で例えると、一気に花が咲いてくる、誕生の波動の段階です。今年、この 9 月 5 日～22 日までの 18 日の期間で、5 日目の夜の期間で行った出来事を皆に栄養が流れる形で生かしたり、片付けたりする事をしながら、5 つ目の昼で出てきた新たな認識や、これからの地球社会の基となるマルチ次元的な認識を生み出すものから、色んな花が咲いてくるという段階に入るといことになるのです。

そして、それをもって、**6 つ目の夜の**期間に入ります。植物でいうと、満開になる手前の段階で、春の勢いに乗った感じで、ますますきれいで、立派な花を咲かせるように必要な栄養を丁寧に与え続けていく段階です。今年、6 つ目の昼に押さえたもの、機械や、一気に拡大してきた認識に基づいた新しい道具や機械などのさらなるファインチューニングを通して、全てがさらに効率よく、最大限に表現できるために改善し、磨く波動の段階です。

そして、**7 つ目の昼**が 10 月 11 日～28 日に行い、テーマ的には、「満開の段階」になるのです。しかし、今年の場合は、その日にちで、マヤ暦の全ての意識の進化レベルがいつぱんに終了するので、これまでの地球の歴史には無かった新たな認識範囲から生まれる人生経験を生み出す段階に入るとい思います。

ですから、世界が終わりというよりも、誰もが本当に最高に感じる「宇宙意識」に基づいた世界が始まるということになるのです。